

日本海側の大学について

大学選びをする際、当然と言えば当然なのですが、家から通えるところか、首都圏・名古屋圏・関西圏にまず目が行きます。ですが、やはり大学は全国にあり、本校からも様々な地域の大学に進学しています。今回は、特に日本海側の大学についていくつか紹介していきます。大学受験の戦略から考えると、日本海側の大学は、大学の規模・実力の割に、入試難易度は低めな傾向があります。これは、太平洋側の方が人口が多い＝受験生が多く、倍率があがってしまうのに対し、日本海側は人口が控えめなので、受験生が集中しない、ということが背景の一つです。また、新幹線が充実したことで、さらに地元の高校生が出ていってしまうという状況もあります。とはいえ、歴史と伝統のある大学もあり、ある意味狙い目な大学が多いように思います。

日本海側と言っても広いので、ここでは静岡県に近い新潟県・富山県・石川県・福井県の代表的な大学を非常に個人的な視点でピックアップしていきます。少しでも気になったら、調べてみることをおすすめします。

<新潟県>新潟県は静岡からは遠いイメージですが、新幹線のおかげで新潟から東京まで2時間と、実は便がいいです。

新潟大学

新潟大学のおすすめポイントは、「大規模総合大学」であり、多くの学部が「くくり募集」というところ。くくり募集というのは、「学部」単位で入試があり、「学科」選びはしばらく大学で学んでから決めるというものです。文系だと結構ありますが、工学部や農学部だと学科単位の入試が多く、くくり募集は珍しいです。よく、大学に入ってから勉強する内容を決めたい、という相談がありますが、そういう人にはお勧めです。また、新潟大学の「創生学部」は、いわゆる文理融合型学部のはしりですが、他の大学に比べて、かなり選択肢が広く、かつ選んだ分野を深く学べる学部の設定になっているのが魅力です。

新潟県立大学

小規模な大学であり、注目されにくいですが、一番のポイントは、公立大学なのに、前期・中期・後期の日程ではない独自日程なので、どうしても国公立に行きたい人にとっては、4校目・5校目の受験ができる大学です。交通の便も悪くありません。

三条市立大学

工学部の単科大学。燕三条は金属加工を得意とする地域であり、金属加工に興味がある人は、チェックしてみるといいと思います。キャンパスは新しく、最新の設備が整っていました。キャンプ用品のスノーピークとも連携しているのも売りです。

<富山県>富山県は小さな県ですが、富山市は代表的なコンパクトシティで、案外生活圏がまとまっていて暮らしやすいです。

富山大学

富山といえば薬売りの伝統があり、薬学部は看板の一つです。医学部医学科も伝統がある割には、東海地区の医学部よりはやや難易度が低いので、国公立大学で医学部を目指す人は検討する価値があります。また、富山大学の特徴的な学部として、「都市デザイン学部」という学部があります。これは、地学・交通・材料デザインという3つの側面からインフラに関わっていくという、かなり独自のコンセプトをもった学部です。特に富山県は鉄道の種類が多いことから、交通インフラに関して強く、いわゆる「良い鉄道オタク」を極めたい人にはおすすめです。（「悪い鉄道オタク」の話はしたくないです）

富山県立大学

富山県立大学は、「工学」と「看護」の二枚看板ですが、特におすすめするのが「工学部」です。意外かもしれませんが、富山は化学工業がさかんな地域です。機械工業もさかんであり、富山県立大学は中堅工学部としておすすめできます。さらに特徴的なのが、工学部としては珍しく、薬学系の「医薬品工学科」を持っています。ここは、薬剤師の資格こそとれませんが、他大学の薬学部の製薬コースと同様な内容を学べる学科だということです（大学の教授による）。ですので、製薬会社や化粧品メーカー、食品会社への就職を考えているのであれば、選択肢に入れて全く問題のない大学です。

<石川県> 石川県は、人口10万人当たりの大学数が多い県(第2位)、他県からの学生が多く、学生フレンドリーな県です。

金沢大学

金沢大学は、毎年本校から入学する人がいる、名門国立大学の一つです。こちらでも総合大学として十分なポテンシャルを持ち、ユニークな学域・学類もあります。とりわけ**金沢大学は様々な入試方法がある**ことが特徴です。特に **KUGS 入試**は、金沢大学の講義を受けてレポートを提出するなど、いくつかの基準を満たすと受験条件となるものです。このレポートは、3年生の8月までに提出する必要があるので、金沢大学に興味を持ったら、1・2年生のうちにオンライン講義を受講することを考えてみてください。受講イコール受験というわけではないので、受講自体が良い経験になります。その他、**金沢大学主催の数学のコンテストや文学賞**での受賞によって受験資格となる入試もあります。さらに、**文系一括・理系一括**の入試など、全体像はつかみにくいですが、金沢大学は入試の仕組みがたくさんあることはチェックしておくといでしょう。

金沢美術工芸大学

日本を代表する国公立芸術大学の一つ。規模は小さいながらも、非常に充実した施設・教育を受けられる大学です。2023 年に移転し、非常にきれいなキャンパスです。さまざまな技法の工房が随所にあり、いろいろな作品を制作することができます。考えてみれば、金沢は金箔・陶磁器で知られた美術と工芸の街なので、歴史ある美術系の大学があるのは当然と言えば当然。ちなみに金沢は美術館も図書館も充実しており、芸術を学ぶには良い環境なのは間違いありません。

石川県立大学

石川県立大学は「**生物資源環境学部**」の単科大学です。これはわかりやすく言えば「農学部」に当たりますが、「環境」についても深く学ぶことができます。大学の近くには広い農場があり、季節の作物が育てられています。ここに限らないですが、「農学」系の学びは、当然、その地域の気候・土地柄に影響を受けます。「農学」「環境」に興味を持っているなら、一度は静岡県から外に出て、全く違う自然環境の中で学ぶことも大事のように思います。お米もおいしい。

公立小松大学

公立小松大学の看板は「**生産システム科学部**」と、「**保健医療学部臨床工学科**」です。小松市と言えば、建設機械メーカー“コマツ”のお膝元ですね。生産システム科学部は、工学部の機械工学科+情報工学科のような学部になっています。臨床工学科は、数少ない**臨床工学技士**のとれる公立大学です。臨床工学技士は、人工心肺や人工透析器、コロナ期に知られるようになった ECMO などを扱います。手術現場で医師・看護師とともに活動することも多い重要な職業です。

<福井県> 北陸新幹線が延伸されたことで、福井駅から大宮・東京まで新幹線一本で行けるのはすごい時代になりました。

福井大学

静岡県から福井大学に進学するならば、まず「**工学部**」になると思います。福井大学の工学部は、**繊維系と建築系**をルーツとしており、現在では土地柄、**原子力(原子炉)に関する研究**も売りにしています。これらは静岡大学工学部では弱い分野ですので、これら特定の分野を勉強したいのであれば、むしろ積極的に進学する理由がある大学だと言えます。大学の説明会に行くと、就職率が高いこともアピールポイントとして紹介されます。例えば繊維系だと、**スポーツ用品の研究**などにもつながるし、原子力研究もニーズの高い分野ですね。入試の難易度の割には、得るものが大きい大学の一つです。

福井県立大学

福井県立大学と言えば、「**恐竜学部**」があることでよく知られています。新設でまだ卒業生が出ていないので、大学を卒業してどうなるかは未知数ですが、博物館の学芸員や、理科教員の免許も取れますし、観光業界なども考えられるでしょう。他にも「**海洋生物資源学部**」(いわゆる水産学部)や、「**生物資源学部**」(いわゆる農学部)では、若狭湾をはじめとした福井県をフィールドとして学ぶことができます。大学で研究したいテーマが合致していたら、充実した学びが得られるでしょう。

あくまでも、今回紹介した内容は、みなさんにちょっと興味を引いてもらうためにリストアップしたものです。**興味は大学調べの第一歩です**。これらの情報の正確さについては、改めて各大学のホームページ等で確認をしてください。